

滋賀県議会 知事所信表明

新幹線栗東新駅は凍結



県民の声が反映する県政こそ

知事選後、初めての定例県議会が26日開催されました。嘉田知事は所信表明で、新幹線栗東新駅、琵琶湖周辺の6つのダム、大津市栗原地域の廃棄物処理施設について、いずれも凍結の方針を表明しました。

所信表明で嘉田知事は、「税金の無駄遣いもつたない。琵琶湖や自然本来の力を壊したらもつたない。若者の持つ力を壊したらもつたない」と県政の基本法方向を示しました。

その上で、新幹線栗東新駅について、これまでの県の説明してきた需要予測や税収効果も、県民の納得を得られるものではなく、限りなく中止に近い凍結の方向に県民の意思

があつた」とし、県や栗東市、促進協議会、JR東海で凍結の合意をめざすと述べました。

国県の6つの大型ダム問題でも、水重要のための多目的ダムは財政・環境保全面から見直すこと。また、大津市に建設予定の産廃処分場は、計画が大量廃棄の発想から脱却しておらず、地域社会も混乱させたとして凍結を表明しました。

野洲市でも、3000名の市民が住民投票条例制定を求めたことや知事選挙の結果をみても、「新幹線栗東新駅は中止」という意思が示されています。しかし、市議会では、2億6900万円の野洲市負担が、豊政会・公明党、連合系会派の賛成で議決(昨年8月臨時議会)。市長も、「議会手続きを経たもの」としていますが、明らかに市長・市議会と市民との意思はかけ離れています。

「税金の無駄遣いをやめ、暮らし優先の市政実現」へ、引き続き、みなさんとともにがんばります。

日本共産党野洲市議団

小泉「改革」の骨太方針で 暮らし破壊の大増税が...

あなたの負担は？

あなたの負担増がわかる
負担増シミュレーション

自民党・公明党が実施した住民税大増税に、野洲市役所でも苦情と抗議が殺到しています。全国で500万人もの高齢者に数倍～10数倍にのぼる負担増がおそいかかったからです。しかし、増税はこれだけに収まりません。来年1月には所得税、6月には住民税の定率減税が完全になくなります。さらに消費税を10%にするという計画も...

日本共産党は、いま実施されている高齢者への大増税をただちに中止し、見直しをはかることを政府に要求。「庶民に大増税、大企業に減税」という逆立ちした税制の転換を主張しています。

日本共産党ホームページで 負担増シミュレーションができます

あなたの年収などを入力すれば、「負担増シミュレーション」ができます。ご利用ください。

こちらのページから
www.jcp.or.jp



やす民報

日本共産党野洲市委員会
2006年7月30日 91

暮らしのご相談、ご要望
お寄せください

市会議員 **小菅六雄** (電話) 589-4971 (FAX) 589-6184
(メール) shgdy177@ybb.ne.jp (HP) <http://www.yasusigi.net/~kosuga/>

市会議員 **野並享子** (電話) 587-0985 (FAX) 586-1102
(メール) s_k_nonami@yahoo.co.jp (HP) <http://www.yasusigi.net/~nonami/>